

製品名: Cdc6 (リン酸化 Ser54) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04427**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	62kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC6
別名	CDC6; CDC18L; Cell division control protein 6 homolog; CDC6-related protein; Cdc18-related protein; HsCdc18; p62(cdc6); HsCDC6
遺伝子 ID	990.0
SwissProt ID	Q99741
免疫原	抗血清は、ヒト CDC6 の Ser54 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 20-69

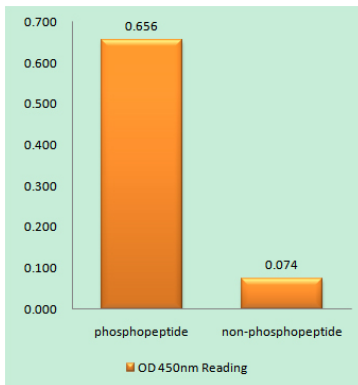
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、DNA複製開始に必須のタンパク質であるサッカロミセス・セレビスエ (*Saccharomyces cerevisiae*) の Cdc6 と高い相同性を示す。このタンパク質は DNA 複製の初期段階において調節因子として機能する。細胞周期 G1 期には細胞核に局在するが、S 期開始時には細胞質へ移行する。細胞周期中のこのタンパク質の細胞内移行は、Cdk によるリン酸化を介して制御される。このタンパク質の転写は、E2F タンパク質を介した転写制御機構を介して、分裂促進シグナルに反応して制御されることが報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: DNA 複製開始に関与。また、有糸分裂が開始される前に DNA 複製が完了することを保証するチェックポイント制御にも関与します。、類似性: CDC6/cdc18 ファミリーに属します。、細胞内局在: このタンパク質は G1 期細胞では核内に、S 期細胞では細胞質内にあります。、サブユニット: PCNA、ORC1L、サイクリン CDK、HUWE1 と相互作用します。、

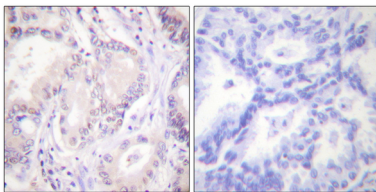
研究分野

細胞周期 G1S;細胞周期 G2M_DNA;

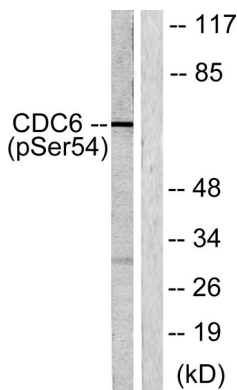
画像データ



CDC6 (リン酸化 Ser54) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



CDC6 (リン酸化 Ser54) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



EGF 200 ng/ml 30 μ L で処理した COS7 細胞のライセートを CDC6 (リン酸化 Ser54) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。